

## エクスポートとインポート

---

事故や作業中のデータ損失のリスクを回避するために、データベースをバックアップすることが重要です。

Dockerコンテナで作業している場合は、エクスポート/インポートしたファイルをコンピュータから転送することを忘れないようにする必要があります。

## 輸出

データベースを「.sqlファイルにエクスポートすることができます。これを行うには、接続を切断してから次のコマンドを実行する必要があります。

```
mysqldump -u ユーザー名 -p dbname > ファイル名.sql #または  
  
mariadb-dump -u ユーザー名 -p データベース名 > ファイル名.sql
```

パスワードの入力を求められます。その後、データベースのサイズに応じて多少の待ち時間が発生しますが、ターミナルで開いている場所にファイルが作成されます。ただし、この解決策は実行場所によっては問題が発生する可能性があります。実際、「vscode」でターミナルとして使用されている「powershell」はファイルを「UTF-16」で保存しますが、「mysql」はデフォルトで「UTF-8」を期待しています。その場合は、以下の方法を推奨します。

```
mysqldump -u ユーザー名 -p データベース名 -r ファイル名.sql
```

(「-r」はWindows によって追加された改行も削除します。) 次のようなオプションを追加できます。

```
mysqldump --add-drop-table -u ユーザー名 -p データベース名 -r ファイル名.sql
```

「--add-drop-table」は、インポート時に同じ名前のテーブルが存在する場合に削除することを示します。

一部のオプションはデフォルトで有効になっている可能性があります。次のコマンドで確認できます。

```
mysqldump --help
```

## 輸入

データベースをインポートするには、次のコマンドを使用する必要があります。

```
mysql -u ユーザー名 -p データベース名 < ファイル名.sql  
#または  
mariadb -u ユーザー名 -p データベース名 < ファイル名.sql
```

警告! PowerShell では「<」は受け入れられません。

代わりに、データベースに接続し、接続後に次のコマンドを実行します。  
BDD:

```
ソースファイル名.sql
```